

平成12年度

「環境を考える建設業の役割」
アンケート調査結果報告

(社)沖縄県建設業協会



〒901 - 2131 浦添市牧港 5 - 6 - 8

TEL 098 - 876 - 5211

FAX 098 - 870 - 4565

12 12 () ()

1 500

1. 知っていた _____ 472 名
2. 知らなかった _____ 997 名

道路舗装の工夫は、実体験で感じた人達が多いのか予想以上に「知っていた」とのコメントがあった。

1. 改善すべきである _____ 1346 名
2. 今のままでよい _____ 130 名

県内の慢性的な渋滞に対する県民の不満を感じた。

1

1. 新しい道路網を建設すべきである _____ 336 名
2. モノレールをもっと延長し車を減らすべきである _____ 471 名
3. 鉄道あるいは新しいスタイルの交通システムを建設すべきである _____ 590 名
4. その他 _____ 97 名

モノレールの延長と新たな交通システムへの関心は非常に高く将来の導入の引金になりそうであり、研究の余地があることを感じた。

()

1. 推進すべきである _____ 880 名
2. 中止すべきである _____ 356 名
3. その他 _____ 149 名

国道58号線と平行した北進道路を多くの方が望んでいる。しかし「環境問題」と「車の増加」を懸念する意見もあり、デリケートな一面を垣間見ることができた。

1. 観光を中心とするべきである _____ 707 名
2. 流通産業を中心とするべきである _____ 496 名
3. 情報産業を中心とするべきである _____ 353 名
4. その他 _____ 68 名

基幹産業としての「観光」は根強いものがあるが、自立に向けた「流通・情報」といった意識の変化を見ることができる。

10

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 1. 道路 | ————— | 858 名 |
| 2. 港 | ————— | 262 名 |
| 3. 空港 | ————— | 293 名 |
| 4. その他 | ————— | 173 名 |

基幹産業の全てにおいて道路整備が第 1 であり、次に観光客の受け皿となる空港となった。コメントの中では沖縄において道路(アスファルト)の気候的悪条件についてはあまり知られていない。単に「道が悪い」というイメージが強いような気がする。

11

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 1. 公園 | ————— | 445 名 |
| 2. 映画館 | ————— | 133 名 |
| 3. レストラン | ————— | 192 名 |
| 4. 学校 | ————— | 325 名 |
| 5. 図書館 | ————— | 135 名 |
| 6. 歩道 | ————— | 887 名 |
| 7. その他 | ————— | 63 名 |

バリアフリーを考えると、真先に歩道の段差が気になる。また公園の維持管理に問題(治安、衛生)があるとのコメントが多かった。

12

別添コメント集、年齢別の設問 7 ~ 12 まで取りまとめております。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | ————— | 471 名 |
| 2. 女性 | ————— | 1033 名 |

性別では、女性が圧倒的に多かったが、ソフト面に関する意識の高さは、今後の業界において非常に参考になるものがある。

1. 10～20代	—————	622名
2. 30代	—————	301名
3. 40代	—————	260名
4. 50代	—————	193名
5. 60代	—————	128名

年齢層では、10～20代が最も多かったが、「環境」について敏感に反応し、コメントは少なめであるが、将来に向けた若い感覚に対しての対応を考える必要がある。

1. 自営業	—————	98名
2. 会社員	—————	374名
3. 公務員	—————	183名
4. 主婦	—————	280名
5. 学生	—————	410名
6. その他	—————	159名

今回のアンケートは、クリスマス前の土・日曜日でデパート前であることから女性が多いものの、職業的にはやや学生が多いが全体的にバランスがとれている。沖縄の将来を担う若者たちの意識を得られたことはとても貴重であった。また環境を考えたとき特に沖縄は島嶼県のうえ観光を基幹産業としていることから、「環境」について一層の配慮をしていく必要性を感じた。